グラデーションの作り方

No.excel: (45) PC クラブ 2025.03.19

右図のグラデーションを設定しながら、グラデーションを自在に操る方法



図形を描いておきます。 そして、グラデーションを設定したい図 形を選択

選択した図形のところで右クリック、[図形の書式設定]をクリック

中に文字が入っていない図形

ペンキバケツが倒れているマークをクリックし、更にその下の [塗りつぶし] の左に表示されている三角が右向きの三角だったら、この三角か [塗りつぶし] という文字の部分をクリック

中に文字が入っている図形

中に文字が入っている図形の場合、グラデーションを設定したいのは、その図 形自体なのか、それとも、その図形の中に入っている文字なのかを選ばなけれ ばいけないため、[図形のオプション][文字のオプション]という選択肢がある

展開された選択肢の中から、[塗りつぶし(グラデーション)]を選択すると、更にその 下にグラデーションを詳細に設定する項目がズラッと表示される。





グラデーションを設定したいわけですが、左の図のグラデ ーションは、

「青」→「白」→「赤」のように色が変化しています。色が 3 つに分かれ ている、ということになります。



図形の書式設定	~ ×
図形のオプション 文字のオプション	
()塗りつぶし	
▷ 線	
図形の書式設定	*

ð

方向(D) 角度(E) グデー3

透明度(工



ж	切り取り(工)	
6	⊐Ľ−(<u>C</u>)	
ß	貼り付けのオプション:	
	Ĉ	
<u>A</u>	テキストの追加(<u>X</u>)	
(\mathbb{Z})	頂点の編集(<u>E</u>)	
电	グループ化(<u>G</u>)	Þ
۹.	最前面へ移動(<u>R</u>)	Þ
۹.	最背面へ移動(<u>K</u>)	₽
₿.	ハイパーリンク(<u>I</u>)	
	図表番号の挿入(N)	
0	文字列の折り返し(型)	Þ
	既定の図形に設定(D	
п	その他のレイアウト ジンヨン(上)	
2	図形の書式設定(<u>Q</u>)	

色がいくつに分かれるのか、というのを設定するのが、[グラデーションの分岐点] という部分です。

この [グラデーションの分岐点] に最初に表示されている「つまみ」が、4 つだろうが、3 つだろうが、個数は気にすることはない





角度(E)

Π

色(C)

角度(<u>E</u>)

Ū

色(C)

角度(E)

色(<u>C</u>)

グラデーションの分岐点

位置(O)

位置(<u>0</u>)

ダラデーションの分岐点

グラデーションの分岐点

¢

M

ۍ 😴

\$

\$

N

*

÷

₽0°

1

74%

90°

0%

90°

\$

1

*

t



選択したつまみが消えます。

分岐点を1つ減らした、ということです。

今回の例では、分岐点のつまみが、最初は4つあったのですが、減らしたので3つになりました。





選択したつまみの右側に、新しいつまみが追加されました! ボタンに+マークが付いていたので、つまみが追加されたというわ けです。



新しいつまみは、選択したつまみの右側に入るので、左の図のつま

みを選択後に、つまみを追加するボタンをクリックすれば、

選択したつまみの右側に、つまみが追加されました!

位置(Q) 87% ↓ 角度(E) 90° ↓ りデデーションの分岐点 色(C) 位置(Q) 94% ↓

でも、一番右端ギリギリにあるつまみを選択して追加した時だけは 例外。こんな風に左側に入ります。

新しくつまみが入るスペースが、右側に無いので仕方ないですね。

グラデーションの色

今回設定したいグラデーションは、 「青」→「白」→「赤」 のように、3 色のグラデーションです。

どのつまみから設定していっても OK なのですが、今回は右端のつまみか ら設定していくことにしましょう。

右端のつまみをクリックで選択後、[色] ボタンの [▼] をクリックすると、

色の一覧が表示されるので、好きな色をクリックで選択します。

もし一覧に好みの色が無ければ、一覧の一番下にある「その他の色」から色を 設定します。

ちなみに、ここで表示される色の一覧は、文書に設定されているテーマによっ て変わってくるので、左の図と同じじゃなくても気にする必要はありません ∃。

同様にして、他のつまみにも色を設定していきましょう。 真ん中のつまみをクリックで選択後、〔色〕 ボタンの〔▼〕 をクリック し、表示された一覧から好きな色を選択します。

左端のつまみも、同様にして色を設定します。 やはり色を設定したいつまみを、先にクリックで選択してから色を選ぶ のがポイント。 つまみの選択、お忘れなく。

ちなみに、今回の例で私が使用した色はこちら。 繰り返しますが、ここで表示される色の一覧は、文書に設定されているテーマ によって変わってくるので、左の図と同じじゃなくても気にする必要はあり ませんヨ。



角度(<u>E</u>)	90° ‡
グラデーションの分岐点 🗸	
l l	1
色(<u>C</u>)	-
位置(<u>0</u>)	0% ‡
透明度(工) Ⅰ	- 0% ‡

さて、左の図の例では、白に設定した「つまみ」が、赤を設定したつ まみの方に寄っています。

そのため、「つまみ」と「つまみ」の間隔を見ると、青~白の部分は広 く、白~赤の部分は狭くなっていることが分かります。



90°

74%

900

1 1

÷

<u></u>

٢

÷





角度(<u>E</u>)

角度(E)

Ū

色(<u>C</u>)

位置(<u>0</u>)

角度(<u>E</u>)

色(<u>C</u>)

グラデーションの分岐点

グラデーションの分岐点

グラデーションの分岐点

•

÷

1 ×



つまみの位置は、実際のグラデーションに反映されるので、実際のグラ デーションも、青~白の部分は広く、白~赤の部分は狭くなっています。 この時点で、グラデーションの色の変化が上から下に流れているなど、 グラデーションの方向が完成図とは違っていても、気にせず先に進んで ください。



ここで、真ん中のつまみをドラッグで動かし、青〜白の部分をやや狭く、 白〜赤の部分をやや広くなるようにすると、



実際のグラデーションにも反映され、青~白の部分はやや狭く、白~赤の 部分はやや広くなりました!

つまみをドラッグで動かす際は真横に動かすのがポイント。

上方向や下方向に向かってドラッグしてしまうと、そのつまみが消えてしまうので注意です。



このつまみの位置調整は、ドラッグで動かす以外にも方法があります。 動かしたい**つまみをクリックで選択**後、[位置]の欄で数字を設定します。 きっかり半分の位置に設定したい!などという時に便利です。



グラデーションの位置を調整することができました!

グラデーションの種類と広報



グラデーションには、いくつかの種類があり、そして更に、その方向も設 定できるようになっています。

どういうことなのかは、見て頂いた方が早いので、早速操作してみましょう!

[種類]の[▼]をクリックし、一覧から「放射」を選択します。 更にその下の[方向]の[▼]をクリックすると、放射状のグラデーションが、どの方向に広がっていくように見せるのかを選択できます。 今回は、この一覧から真ん中のものを選択してみます。



選択した方向の、放射状のグラデーションになりました!



今度は [種類] で「四角」を選択後、[方向] の [▼] をクリックして一覧を見 てみましょう。

「四角」の形状のグラデーションが、どのようなものなのかが分かりますね。



今度は [種類] で「線形」を選択後、[方向] の一覧から、左の図のものを選択してみます。



線状に、左から右に向かって色が変化するグラデーションに設定することがで きました!